

過去に開催した大阪大学公開講座（第 45 回～第 54 回）

●第 45 回（2013 年度）

テーマ A「大阪学の『ひと・まち』」

A-1：戦後大阪の“アバンギャルド芸術”再考 ―戦前のモダニズムから読み直す― 総合学術博物館・教授 橋爪 節也

A-2：大衆音楽におけるミナミとキタ ―道頓堀ジャズと中之島教養主義 文学研究科・准教授 輪島 裕介

A-3：近世・近代大阪における疾病と医療の歴史 適塾記念センター・准教授 廣川 和花

A-4：大阪のまちはこうしてできた ―都市計画の視点から― 工学研究科・教授 澤木 昌典

A-5：外から見た大阪の言葉 言語文化研究科・教授 小矢野 哲夫

A-6：洋酒王国・大阪 総合学術博物館・特任講師 松永 和浩

A-7：大阪学問所「懷徳堂」の知とそれを支える人々 文学研究科・助教 金城 未来

A-8：サイクロトロンと大阪大学 ―現代物理学を拓いた大阪― 理学研究科・教授 岸本 忠史

サブテーマ B「少子高齢化の『現在・未来』」

B-1：日本の少子高齢化―小児科医の視点から 連合小児発達学研究科・教授 大園 恵一

B-2：日本（または大阪）において、少子高齢化・人口減少が引き起こす社会的課題

国際公共政策研究科・教授 赤井 伸郎

B-3：子孫繁栄のために生物が選択した究極の手段とそのリスク 蛋白質研究所・准教授 篠原 美紀

B-4：老年行動学からみた高齢者のこころ 人間科学研究科・教授 佐藤 眞一

B-5：地域の成熟のための環境デザイン ―千里ニュータウンで始まっていること― 工学研究科・准教授 鈴木 毅

B-6：ロボットを使ったヒトの身体の研究 情報科学研究科・教授 細田 耕

B-7：少子高齢化と働き方の変化 高等司法研究科・教授 水島 郁子

B-8：くすりの町＜大阪＞の未来創薬 薬学研究科・教授 土井 健史

●第 46 回（2014 年度）

テーマ A「いま、健やかさとは」

A-1：ゲノムだけでは決まらないー『エピジェネティクス』と病気の話 生命機能研究科・教授 仲野 徹

A-2：科学技術がもたらすリスクとどうつきあうか――法学の観点から 法学研究科・教授 中山 竜一

A-3：持続可能な社会づくりと環境 NGO 法学研究科・教授 大久保 規子

A-4：マウスの行動からみた健やかなこころ 薬学研究科・教授 松田 敏夫

A-5：神経経済学とは ～脳を見る経済学 社会経済研究所・招へい研究員 田中 沙織

A-6：災害ボランティアの 20 年―被災地のリレーにみる“健やかさ” 人間科学研究科・教授 渥美 公秀

A-7：自分で自分を食べる細胞：オートファジーの謎 生命機能研究科・特別教授 吉森 保

テーマ B「いま、世界を視る」

B-1：ここまで見えた、分かった、生体ライブカメラで見る体内の小宇宙 生命機能研究科・教授 石井 優

B-2：対話の場をデザインするー科学技術と社会の間をつなぐということー

コミュニケーションデザイン・センター・准教授 八木 絵香

B-3：質量の起源ヒッグスを追う 理学研究科・准教授 花垣 和則

B-4：東アジアと日本の安全保障について 法学研究科・教授 坂元 一哉

B-5：ゲリラ豪雨や竜巻を瞬時に把握－世界最高性能の気象レーダの研究開発
工学研究科・准教授 牛尾 知雄

B-6：研究不正から視る現代の科学 全学教育推進機構・准教授 中村 征樹

B-7：「歩き」をみる 産業科学研究所・教授 八木 康史

●第47回（2015年度）

前期テーマ「文化の遠心力」

前期1：大都市・大阪の課題 法学研究科・准教授 砂原 庸介

前期2：考古学が掘り起こす地域社会と文化－野中古墳、待兼山遺跡を中心に－
埋蔵文化財調査室・助教 中久保 辰夫

前期3：“大大阪イメージ”とメディア・芸術－マンモス都市誕生との相克－
総合学術博物館・教授 橋爪 節也

前期4：近代大阪の大衆音楽 文学研究科・准教授 輪島 裕介

前期5：Back to the "Future" 経済学研究科・講師 佐井 りさ

後期テーマ「科学の求心力」

後期1：がんはなぜこわい病気なのか？

医学系研究科・特任教授（大阪大学名誉教授、大阪府立成人病センター総長） 松浦 成昭

後期2：細胞の中の分子を見て、その働きを解き明かすナノバイオロジー
理学研究科・教授 上田 昌宏

後期3：医療は文化です！病院で外国人を診るとき 人間科学研究科・教授 中村 安秀

後期4：細胞社会を支える「細胞外マトリックス」と再生医療 蛋白質研究所・教授 関口 清俊

後期5：ロボティクスと看護学 医学系研究科・教授 大野 ゆう子

後期6：がんと老化を制御する細胞老化の仕組みと役割 微生物病研究所・教授 原 英二

後期7：目を動かしても世界が動かないのはなぜか 生命機能研究科・教授 北澤 茂

●第48回（2016年度）

前期テーマ「老いの未来」

前期1：私たちは、どこから来て、どこへ行くのか～宇宙地球科学の見地から～
理学研究科・教授 寺田 健太郎

前期2：漢詩にうたわれた老いのすがた 文学研究科・教授 浅見 洋二

前期3：健康寿命を延伸する最新のトレーニング方法 全学教育推進機構・准教授 藤田 和樹

前期4：歯が良い人はなぜ健康で長生きなのか 歯学研究科・准教授 池邊 一典

前期 5：あたらしい金融技術と老後資金 法学研究科・准教授 松尾 健一
前期 6：老いることはしあわせか？ 人間科学研究科・准教授 権藤 恭之
前期 7：人工知能による医薬品設計と、住みやすい老後 薬学研究科・教授 高木 達也
前期 8：ゲノムで紐解く老いのメカニズム 医学系研究科・教授 岡田 随象

後期テーマ「若さの将来」

後期 1：生体リズムとゆらぎの情報学 基礎工学研究科・准教授 清野 健
後期 2：知らざるものを知るから 経済学研究科・准教授 深尾 葉子
後期 3：気がつけば、仕掛学 経済学研究科・准教授 松村 真宏
後期 4：錯覚を用いてスキルを伝達するシステム 情報科学研究科・准教授 安藤 英由樹
後期 5：次世代のゲノム医療に対する期待と不安 医学系研究科・教授 金田 安史
後期 6：豊かな生き方と働き方 ―北欧・スウェーデンを参考に― 言語文化研究科・教授 高橋 美恵子
後期 7：デザイナーベビー／ゲノム編集の光と影 微生物病研究所・教授 伊川 正人
後期 8：老いと若さの対立を越えて 文学研究科・教授 浜渦 辰二

●第 49 回（2017 年度）

前期テーマ「心と体の健康」

前期 1：血管の老化予防とアンチエイジング制御 微生物病研究所・教授 高倉 伸幸
前期 2：健康長寿を楽しむために口の機能と健康が必須であるわけは？
歯学研究科・特任教授 前田 芳信
前期 3：血管年齢を若返らせて、ボケずに長生きする方法とは？
医学系研究科・寄附講座教授 森下 竜一
前期 4：美しく健康な皮膚を維持するためのアドバイス：加齢による皮膚のアレルギーから皮膚ガンまで
医学系研究科・教授 片山 一郎
前期 5：老年期のメンタルヘルスの課題 ～認知症は予防できるのか～ 医学系研究科・教授 池田 学
前期 6：フレイルを識って健康寿命を伸ばす 医学系研究科・講師 杉本 研
前期 7：認知症「不可解な行動」には理由（ワケ）がある～老年行動学からみる認知症の人のところ～
人間科学研究科・教授 佐藤 眞一

後期テーマ「幸せな時間と空間」

後期 1：日本の復活の切り札としての高齢者活用－経験と知恵を社会の根に埋め込む
国際公共政策研究科・教授 松繁 寿和
後期 2：高齢者を支える成年後見と相続・遺言の法律を知ろう 国際公共政策研究科・教授 床谷 文雄
後期 3：サルのおい、ヒトのおい 人間科学研究科・教授 中道 正之
後期 4：思い出話の効用 人間科学研究科・准教授 野村 晴夫
後期 5：スポーツ×サイエンス～東京オリンピック・パラリンピックに向けて～

後期 6：日本の介護保障を考える 人間科学研究科・教授 斉藤 弥生

後期 7：老いの不安を飼いならす 人間科学研究科・教授 河森 正人

●第 50 回（2018 年度）

テーマ「阪大発 研究最前線」

1：「かわいい」って何？ -人はなぜ「かわいい」に惹かれるのか- 人間科学研究科・教授 入戸野 宏

2：脳のセルフケアをご家庭で！ 産業科学研究所・教授 関谷 毅

3：源平合戦と鎌倉幕府の成立 文学研究科・教授 川合 康

4：「月に吹く地球からの風」-月の科学の最前線- 理学研究科・教授 寺田 健太郎

5：日本の財政と将来負担を考える 国際公共政策研究科・教授 赤井 伸郎

6：「氏が育ちか？」-ふたご研究が教えてくれること-

医学系研究科附属ツインリサーチセンター・特任准教授 本多 智佳

7：東南アジアのイスラム教徒 言語文化研究科・准教授 菅原 由美

8：iPS 細胞を医薬品開発に役立てるには？ 薬学研究科・教授 水口 裕之

9：「普通の暮らし」を支えるために -デンマーク高齢者介護のしくみ-

言語文化研究科・准教授 石黒 暢

10：ロボットを通じた人間理解 基礎工学研究科・教授 石黒 浩

●第 51 回（2019 年度）

テーマ「次世代研究者と拓く共創社会」

1：資本主義とお金の未来 経済学研究科・准教授 安田 洋祐

2：自分を認識し、自分を作り出す脳 先導的学際研究機構・准教授 守田 知代

3：おいしさの科学～匂いがあるのに匂わない？ 普段は気づきにくい嗅覚の重要性～

生命機能研究科・准教授 竹内 裕子

4：先端科学技術と地域資源による安心・安全社会 人間科学研究科・教授 稲場 圭信

5：はたらく細胞～病気ごとに異なる、新種マクロファージ（疾患特異的マクロファージ）の発見～

免疫学フロンティア研究センター・准教授 佐藤 莊

6：「ふつう」ってなに？ ダイバーシティとインクルージョン再考

CO デザインセンター・准教授 ほんま なほ

7：たかが紙、されど紙～未来の紙が拓く新しい世界～ 産業科学研究所・准教授 古賀 大尚

8：南北朝・室町時代の改元 共創機構社会学共創本部・准教授 松永 和浩

●第 52 回（2020 年度）

テーマ「ウィズコロナ」

1：ウイルスと生きる 微生物病研究所・教授 松浦 善治

2：プラスチックとどう共生していくか。みんなでエコを考える 工学研究科・教授 宇山 浩

3：入院中の赤ちゃんに24時間会えるシステム構築を目指して

医学系研究科小児科学教室・准教授 北畠 康司

●第53回（2021年度）

テーマ「研究者とつながる共創世界」

1：ナチス・ドイツと国鉄―「普通の人びと」の戦争 経済学研究科・教授 鳩澤 歩

2：「聴こえ」と健康な未来社会 医学系研究科・教授 日比野 浩

3：地域に新たな価値をつくるまちづくり 工学研究科・教授 加賀 有津子

●第54回（2022年度）

テーマ「異文化・異分野への越境による共創と対話」

1：異分野融合研究から見てきた長寿の秘訣とは 医学系研究科・教授 神出 計

2：判りやすい新型(脳型、量子)コンピューティング 理学研究科・教授 赤井 恵

3：スイス高級時計産業の形成・発展，1980-2020年～デザインマネジメント論と経営史のアプローチ～
経済学研究科・教授 ピエール＝イヴ・ドンゼ

4：ITの進展と法制度の役割の変容 高等司法研究科・教授 松尾 健一

5：ヒトの足とロボットの足 基礎工学研究科・教授 細田 耕

6：個性と多様性の町、大阪が生み出す大学発の化粧品

薬学研究科先端化粧品科学（マングラム）共同研究講座・招へい教授 藤田 郁尚

7：「総合知」活用社会の実現に向けて～将来可能性教育による高大連携・産学連携の事例紹介～
工学研究科 ビジネスエンジニアリング専攻・教授 倉敷 哲生

8：身近な歯ぎしりの少し難しい話～脳は眠らない～ 歯学研究科・教授 加藤 隆史

9：自立を支援する～デンマークの高齢者介護のしくみ～ 人文学研究科・教授 石黒 暢